

# 第1回大崎市地域自治組織活性化事業交付金

## チャリティ事業審査(公開プレゼンテーション)



とき

平成21年7月5日(日) 午後1時30分開会

ところ

大崎市田尻地区公民館

# プログラム

---

## 第1部

### <公開プレゼンテーション>

1. 開会 (13:30)
2. あいさつ 大崎市長 伊藤 康志  
審査委員会 委員長 遠藤 智栄
3. 審査委員紹介
4. プレゼンテーション
  - No.1 鹿島台まちづくり協議会 のびのび生涯学習委員会  
全日本古希軟式野球大会で人と人との交流の輪！
  - No.2 鹿島台まちづくり協議会 コミュニティ活動委員会  
こころに響くゴミ分別寸劇でリサイクルの推進
  - No.3 三本木まちづくり協議会 安全部会  
三本木地域 子供見守り声かけ総ぐるみ運動
  - No.4 三本木まちづくり協議会 環境生活部会  
「すいせん植え隊」でまちづくり

## 第2部

### <大崎市地域自治組織活性事業交付金審査委員会>

1. 審査
2. 総評及び審査発表
3. 閉会 (16:25)



## 申請事業内容（概要）

（発表順番は抽選により決定）

No.1	団体名：鹿島台まちづくり協議会 のびのび生涯学習委員会	代表者：門 間 忠 良
	事業名称：全日本古希軟式野球大会で人と人との交流の輪！	
	<p>全ての住民が生涯に亘って、健康で、安心して、生き生きと暮らすことが出来るように私達は、野球というスポーツを通じて、健康づくりや人と人との交流の輪づくり等を土台とした街づくりを進めています。</p> <p>今回は、第19回全国古希軟式野球大会を招致することが出来ましたので、これを契機として、かつて開催されました国民体育大会や天皇杯全国軟式野球宮城県大会の時のような子供達をはじめ多くの皆さんに観戦、応援を通じて参加してもらい成功に導きたい。</p>	
No.2	団体名：鹿島台まちづくり協議会 コミュニティ活動委員会	代表者：堺 野 鐵 雄
	事業名称：こころに響くゴミ分別寸劇でリサイクルの推進	
	<p>地域から出たリサイクル資源の利活用を知るため処理業者を視察したところ、分別が不十分で、折角集めたものが焼却に回されていることを知りました。そこで考えたのが「プラ分別の出前寸劇」で、ルールやマナーを啓発しての環境保護や美化の推進です。これまでに、20数回上演を行い、延べ1500人の方に観て感じていただきました。今後、音響機材等の充実を図り、寸劇を通した目や耳から、こころに響く啓発活動を、今よりも一層充実、発展させていきます。</p>	
No.3	団体名：三本木まちづくり協議会 安全部会	代表者：早 坂 勝 一
	事業名称：三本木地域 子供見守り声かけ総ぐるみ運動	
	<p>三本木地域では、交通安全ボランティアや交通指導隊、行政区や見守り協力員等これまで個々の活動として見守りや声かけを行ってきました。それらの活動の連携を図るだけでなく、今後参加協力してくれる地域の大人を増やす目的で、啓発パンフレットを作成すると共に活動時の普段着での声かけづらさを解消する為に「見守り声かけ運動」と表示の有るベストを作成し、協賛広告を戴いた団体や趣旨に賛同していただいた団体や個人に着用して頂き広く地域の宝運動に発展させたい。</p>	
No.4	団体名：三本木まちづくり協議会 環境生活部会	代表者：寺 澤 道 子
	事業名称：「すいせん植え隊」でまちづくり	
	<p>旧三本木町の町花「すいせん」は、「ひまわり」や「菜の花」同様に三本木地域の人々に親しまれている花です。『春先に黄色い可憐なすいせんの花で三本木地域を明るく元気に』を目的に、三本木地域の多くの人々が栽培等に関わることにより、「自分たちの地域は自分たちできれいにしよう！」「自分たちの地域を魅力あるものにしていこう！」という住民活動に繋げ、まちづくりに対する住民の意識向上と、三本木地域の活性化を目指して取り組みます。</p>	

## 平成21年度大崎市地域自治組織活性事業交付金審査委員名簿

		氏 名	所 属 / 委員区分	
1	委員長	えんどう ち え 遠 藤 智 栄	大須デザインスタジオ プランナー/NPO アドバイザー	学識経験を有する者
2	副委員長	あいた まさこ 曾 田 征 子	古川まちづくり協議会	団体推薦
3	副委員長	おばら ふみお 小 原 文 夫	松山まちづくり協議会	団体推薦
4	委員	あらき ゆうこ 荒 木 優 子	三本木まちづくり協議会	団体推薦
5	委員	あら きよひろ 荒 清 広	鹿島台まちづくり協議会	団体推薦
6	委員	まやま たかひろ 真 山 隆 宏	岩出山まちづくり協議会	団体推薦
7	委員	おおえ せいいち 大 江 征 一	鳴子まちづくり協議会	団体推薦
8	委員	えむら かつし 江 村 克 志	田尻まちづくり協議会	団体推薦
9	委員	あいざわ かずよし 相 沢 和 吉	ニューデジタルケーブル株式会社 大崎ケーブルテレビ	市内の企業に勤務する者

### 市民の暮らしを支える交付金へ

大崎市が平成19年度から導入した交付金では、市民自らが考え、自らが実践する地域づくり活動が期待されています。

交付金の交付にあたっては、審査基準をはじめとする公募方法、審査会の設置、審査方法など、行政が基準を定め審査し交付する行政主体の方法ではなく、市民が作成した審査基準をもとに、市民主体の審査会で交付の決定を行うものであります。

このことが評価され、地方自治法施行60周年を記念した総務大臣表彰も受賞しております。

この交付金が今後の地域活動を活性化し、地域の特性や資源を活かした個性ある地域づくりを促進し、もって市民の暮らしを支える地域自治の基盤が形成されるものとなることを切望いたします。

大崎市地域自治組織活性事業交付金審査委員会